

平成

いつも“今”がある。
天神の進化に終わりなし！

平成になっても、天神の進化は終わらない。三越の出店、地下鉄七隈線の開通に伴う地下街の延長に続き、パルコが開業。つねに最先端で、話題を提供し続ける天神から、これからも目が離せない！



平成

平成22 (2010)	平成18 (2006)	平成17 (2005)	平成13 (2001)	平成9 (1997)	平成元 (1989)
パルコ開業	旧岩田屋本店ビルにWe Love天神協議会発足(P5)	福岡市営地下鉄七隈線開業 福岡県西方沖地震	「天神のクリスマスへ行く」(P5) がスタート	福岡三越開業 西鉄天神バスセンターが現在地に移転	ソラリアプラザ・イムズ開業 福岡市制10周年

昭和

焼け野原から奇跡の復活！
天神商人のド根性。

福岡大空襲で焼け野原となった天神だが、その復興は早く、昭和21年10月には新天町商店街がオープン。その後、道路や交通網の整備などを経て、発展し続け、名実ともに九州最大の繁華街となった。



昭和

昭和56 (1981)	昭和51 (1976)	昭和50 (1975)	昭和46 (1971)	昭和21 (1946)	昭和20 (1945)	昭和11 (1936)
福岡県庁が天神から東公園に移転 空見ー天神間で開業	福岡市営地下鉄空港線・室見ー天神間で開業	天神地下街オープン	大丸が呉服町から天神に移転開業 福岡市の人口が百万人突破	新天町商店街開業	ダイエーショップパース福岡店開業	岩田屋百貨店天神に開業 福岡大空襲

大正

「黒いダイヤ」を制する者は天神も制す?!

明治から昭和中期まで、日本の産業を支えてきた「黒いダイヤ」・石炭。福岡県内にも炭鉱王と呼ばれる人物たちが現れ、福岡市の中心部に邸宅を構えた。「筑豊の炭鉱王」伊藤伝右衛門の「赤銅御殿」もそのひとつ。

伊藤伝右衛門と白蓮



大正

大正13 (1924)	大正12 (1923)	大正4 (1915)
九州鉄道・福岡ー久留米間(現西鉄天神大牟田線)開通	旧市庁舎本館竣工	福岡県庁舎が天神(現在の天神中央公園)に開庁

早わかり! ものしり 天神のおしりたち

江戸

「天神」の名はここから生まれた

今泉にあった菅原道真所縁の水鏡天満宮を、福岡藩主・黒田長政が福岡城の鬼門封じのために現在の地に移した。これが「天神」という地名の始まり。

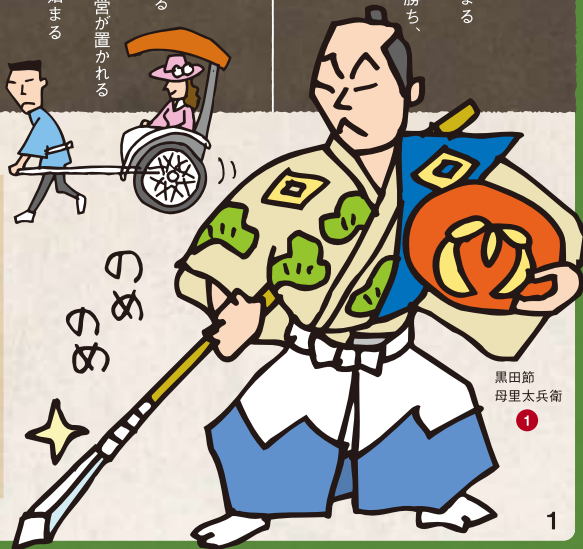
人口約145万人を有する福岡市の中心地にして九州一の繁華街・天神。福岡藩初代藩主となった黒田長政がこの地にやって来た江戸時代から、明治、大正、昭和をへて、今日にいたる天神の進化と発展の歴史を、主な出来事年表でひもといてみよう。

明治

明治43 (1910)	明治42 (1909)	明治22 (1889)	明治21 (1888)	明治10 (1877)	明治9 (1876)	明治4 (1871)
八県連合共進会開催	福岡電車開通。 第13回九州沖縄	福岡市制施行 人口50847人	樹形門(P3)の撤去始まる	西南戦争勃発。 勝立寺(P3)に征討本營が置かれる	福岡県庁が城内より天神町に移る	廃藩置県

江戸

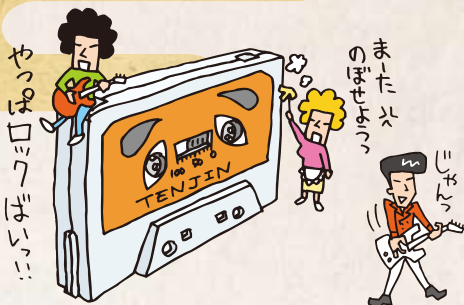
慶長17 (1612)	慶長8 (1603)	慶長6 (1601)	慶長5 (1600)
水鏡天満宮を現在地に移す	黒田長政が勝立寺建立(P3)	宗教問答で僧侶が勝ち、勝立寺建立(P3)	福岡城の築城が始まる



黒田節 母里太兵衛 1

天神を育てたもの、天神が育てたもの。

天神を語る上で忘れてはならない要素が「音楽」だ。今も営業中のライブハウス「昭和2」は、井上陽水、チューリップ、甲斐バンド、海援隊、長瀬剛など、数々のビッグアーティストを生んだ。また、かつて「天神VIVRE 3」にあった「VIVREホール」でも、多くのミュージシャンがステージに立ててきた。天神は一貫して音楽のまちであり続け、そのDNAは現在の音楽イベント「ミュージックシティ天神」に受け継がれている。音楽が天神を育て、そしてまた天神が、音楽を育てているのだ。



2 ※ ①～③は、MAPの番号と対応しています。